

9/6

下呂市総合防災訓練



けが人の応急手当を済ませ、声をかけ合いながら避難所へ向かう避難訓練



がれきの下敷きになったという現場を想定し、工具などを持ち寄っての救助訓練



消防団員に教わりながら救急救命訓練



非常用飲料水袋を背負って、水の重さを実感



下呂管設備工業組合による給水訓練

9月6日、市内全域の各地域ごとに下呂市総合防災訓練が行われました。訓練は、「市内に震度6弱の地震が発生した際」を想定したもので、市民1万4千5百人、消防団員千人、連携団体から50人※、市職員450人の合計1万6千人が参加しました。

メイン会場となった馬瀬地域中切区、荻原区、堀之内区の訓練の様子をご紹介します。



※1 防災訓練の連携団体

岐阜県防災航空隊、陸上自衛隊第35普通科連隊、下呂警察署、下呂土木事務所、下呂市金山赤十字奉仕団、下呂市社会福祉協議会、(一社)下呂建設業協会、下呂市医師会、下呂市歯科医師会、下呂市薬剤師会、下呂看護学校、下呂管設備工業協同組合、岐阜県都市建築部建築指導課、NTTドコモ東海支社岐阜支店、土地家屋調査士協会



馬瀬中学校上空にヘリコプターが飛来、岐阜県防災航空隊による救出訓練



避難所まで、重症患者を担架で運ぶ搬送訓練



普段は乗ることができない自衛隊車両への乗車体験



緊張感に包まれた応急救護所運営訓練会場



自衛隊員のいっしょに、たくさんのおにぎりを作る炊き出し訓練



医師が重症度や緊急性を判断し、治療の優先順位を決定するトリアージ訓練



次々に搬送されてくる負傷者の状態に応じ、迅速な手当を行う医療救護訓練



馬瀬中切区長
田中 敬さん

中切区での実施にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆さまに感謝申し上げます。

私たちが住民は、災害時、けが人や道路、家屋などの被害の状況を迅速に把握して報告すること、そして支援が整うまでに自分たちでできることを訓練することが大切であると今回の訓練で強く感じました。今回の経験は、その災害に備えるため、これから取り組むべき課題の発見や住民の防災意識の高揚につながったと思います。

馬瀬地域をメイン会場として下呂市総合防災訓練を実施していただき、誠にありがとうございました。毎年、行う訓練内容と比べると、どれも大変参考になるものでした。清流ふれあい会館で行われた本番さながらの医療救護訓練、自衛隊及び日赤奉仕団による炊き出し訓練や岐阜県防災ヘリによる救出訓練など例年の訓練とは違った現場の緊張感を感じながら、貴重な経験をすることができました。

総合防災訓練を終えて